

スポーツと読書

"○○の秋"を両方楽しむ



図書館から連想する"○○の秋"は"読書"であるが、4年に一度の世界大会からは"スポーツ"が思い浮かぶ。

2019(令和元)年の秋は、次の大会で実施される新競技に関連する本を手に取り、読書とスポーツを両方楽しんでみるのはいかがでしょうか。ルールを調べたり、各競技にまつわる物語を読むなど、2020(令和2)年に向けて気持ちを盛り上げよう!

野球・ソフトボール



新星出版社編集部/編、新星出版社、2009年、所蔵：中央・東中野

『ボールのひみつ』

様々なボールについて特集されている。素材や形、デザインの移り変わり、断面の様子を写真で確認できるのも面白い。「ソフトボールは、硬度だけなら硬式野球よりも硬いのだが、重量は硬式野球のほうが上のため、衝撃は大きい」など、「ひみつ」にしないで誰かに教えてあげたくなる情報が満載だ。

野球

『みんなのプロ野球川柳』(カネシゲタカシ/「編」著、講談社、2017年、所蔵：上高田)

プロ野球の12球団にまつわる「あるあるネタ」が川柳で楽しめる。漫画家力ネシゲ氏が主催するツイッターの投稿者の作品がずらりと並ぶ。約2万通の中から選ばれた厳選作品をご堪能あれ。

ソフトボール

『みちくさ道中』(木内昇/著、集英社)

ルディング)のポイント、各種目の違いや何を競い合うのかも分かり、観戦の助けになるだろう。

『なんでわざわざ中年体育』(角田光代/著、文藝春秋、2016年、所蔵：中央・野方・江古田)

著者はマラソン、登山、ヨガなど様々なことに挑戦している。その中でボルダリングに関する記述がある。「それが何か、よく知らない。友人が毎週やっている」「私にだってできるだろう」とはじめて見たものの、悪戦苦闘するのである。運動する著者の写真も微笑ましく、何だか楽しいエッセイ集。

サーフィン

『海のボードスポーツABC』(地球丸、2016年、所蔵：上高田)

サーフィンを始め、海のボードスポーツについて学べる一冊。ルールやマナーについての記述や用語集、波の各部の名称、天気図の見方など、知っているのと自慢できそうな知識も豊富で、充実の内容である。

これで観戦への準備も整うというものだ。

2017年、所蔵：江古田

学生時代ソフトボールに打ち込んでいた直木賞作家による初のエッセイ集。卒業後の部活仲間との付き合いや、大人になつてから地元のチームでプレイする話など、本文中にもソフトボールに関する記述が見られる。「道草」をしながら人生を進んでいくのも悪くない、と思わせてくれる一冊。

空手



荒賀道場/監修、メイツ出版、2018年、所蔵：江古田

『空手「組手」戦術の極意55』

「試合前には守りに入らず攻めの気持ちを持ち恐怖心に打ち勝つ」「自分の組手は「攻める」「待つ」「下がる」どのタイプなのかを見極め、相手のタイプを知り戦術を練る」「練習への取り組み方として、全力を出せなくなったら勇気を持って休む」など、心得やテクニックが55の項目で解説されている。組手の写真が細かいカット割りで掲載されており、分かりやすい。空手の道を志す人以外が読んでも、興味深い内容となっている。

『波乗り介助犬リコシエ』



ジュディ・フリードマン、ケイ・プファルツ/著、小林玲子/訳、辰巳出版、2015年、所蔵：上高田

介助犬トレーナーのジュディは、集中力があり優秀な子犬のリコシエに期待していた。だが、リコシエは次第に落ち着きがなくなり、言う事を聞かなくなっていく。もう訓練を諦めようかと思いつつ、いた時、サーフィンをやる犬(サーフ・ドッグ)の大会に参加したりリコシエの姿に、ジュディはある決意をする。サーフィンをやる介助犬リコシエが、傷ついた人々に寄り添うお話。

スケートボード



H.L.N.A./監修、成美堂出版、2019年、所蔵：中央

『はじめてのスケートボード』

スケートボードにはいくつかの種類がある。例えば、ストリートは「階段や手すり、縁石などの町中を模したコース」で技を競い、パークスタイルは「曲線的な形状を駆使したコース」で技を競う。このような種類の説明に加え、道具、各

スポーツクライミング



東京都山岳連盟/監修、日本文芸社、2018年、所蔵：江古田

『基礎から始めるスポーツクライミング』

スポーツクライミングの3種目(ボルダリング・リード・スピード)について、特徴が分かりやすく解説されている。壁の突起(ホールド)の種類や掴み方(ホー

皆さま、新競技(種目)に興味を持っていただけたら幸いです。ここで紹介しきれなかった関連本で、興味深いものはまだまだたくさんある。自分のお気に入りを探しに、ぜひ図書館まで足を運んで欲しい。

※本誌の掲載内容・お知らせ情報は記事作成当時のものです。